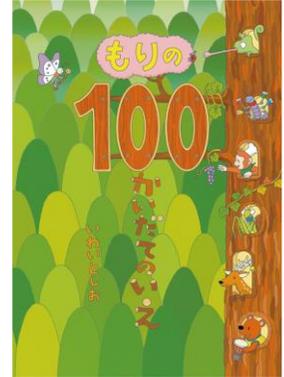


「もりの100かいだてのいえ」

(あらすじ)

森の近くに住んでいるオトちゃんが、お気に入りのハープの練習をしているとどこからか、不思議な音が聞こえてきた。庭に出たオトちゃんは見たことのない花をみつけた。音はその花から出ていた！オトちゃんは、花をたどって森の奥へと進んでいくと、どんどん音が大きくなって1本の大きな木の家にたどり着いた。その家には、サルやくまやしかなど森の動物がたくさん住んでいる。



(子ども達の様子)

新しく出た100かいだてシリーズ。お部屋に飾っておくと「あっ！新しい100かいだてだ！」「しってる！」「はやく読んで！」と読みたくてうずうずしていました。開いたページいっぱい1階から10階ずつの部屋が描かれていて下から上に書いてある数字を数えて次のページへめくります。

100かいだてのお決まりのセリフ「さあつぎのかいにはだれがすんでいるのでしょうか？」と読むと子ども達は一斉に「くま」「らいおん」と口々に言って当てようとし、当たった子は「やった～！」と喜んでまるでクイズ絵本のようなのです。

他にも100かいだてシリーズ4作品読みました。

「100かいだてのいえ」「ちか100かいだてのいえ」「うみの100かいだてのいえ」「そらの100かいだてのいえ」

1学期から100かいだてシリーズが好きなはな組。何度も何度も同じ絵本をみては、「これ読んで！」といまだにリクエストがきます。

子ども達同士でみているときは、絵をよく見て「ここに〇〇がある！」

「つぎは、〇〇階だね！」「つぎの階には、〇〇がすんでいるよ！」と絵本の世界に入り、たくさん会話をして楽しんでいきます。

シリーズものが好きなので、最近は、「ねずみくんシリーズ」を読んでいます。